



図柄入り富士山ナンバーの提出図柄決定

富士山ネットワーク会議（富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、小山町）では、地域の象徴である「富士山」を全国に発信することで、地域の観光振興、公共交通の利活用推進など、地域活性化を図るため、平成 30 年 10 月の地方版図柄入りナンバー導入に向けて、山梨県側 7 市町村と歩調を合わせながら取り組んでいます。

【富士山ネットワーク会議コメント】

この度は、図柄入り富士山ナンバープレートの図柄デザイン募集に当たり、住民の方だけでなく全国から応募があったことに感謝申し上げます。

また、住民人気投票にも多数の方に参加いただき誠にありがとうございます。

今回決まった図柄は、富士山周辺の普遍的な景観がデザインされており、また、縁が緑色になる観光バスなどの事業用ナンバーにも適していると考えています。

なにより、富士山ナンバー 10 周年、富士山世界遺産登録 5 周年という節目の年での取り組みとなったことは、改めて地域の方の富士山への思いを盛り上げてくれたものと思います。

ぜひ、多くの方に図柄入りナンバープレートを付けていただき、富士山ナンバー地域を PR していただけるよう期待しております

【特に伝えたいこと】

地方版図柄入りナンバーの導入にあたり、「富士山」ナンバーは、運輸局及び県域を跨る全国唯一のナンバーであり、国土交通省の特段の配慮により、富士山ナンバーに限り、静岡バージョンと山梨バージョンの 2 図柄のデザインが認められました。

また、山梨県側でも、同日に提出図柄の発表を予定しています。

【図柄決定の経過】

1 図柄デザイン公募 11 月 6 日～11 月 24 日

※地元高校生をはじめ全国から 101 点の応募がありました。

2 図柄人気投票 平成 29 年 12 月 11 日～平成 30 年 1 月 10 日

※住民投票の投票者数 2,531 名、有効投票数 7,099 票

3 提出図柄デザイン決定

※有識者及び関係 5 市町の民間代表者で組織する審査会を開催しました。

審査会では、人気投票の上位 20 作品から、①地域の魅力発信力・デザイン性（オリジナリティー、デザインの美しさ）、②地域性（関係 4 市 1 町を表現しているか）、③機能性（視認性、観光バス等の事業用ナンバーの利用）を考慮し、国土交通省へ提出する図柄デザインを選考し、全首長の同意のもと決定しました。

【今後のスケジュール】

国関係機関において視認性等の審査を行い、色合い等の若干の修正を経て、ナンバープレートの図柄が決定します。

今年の 10 月に図柄入り富士山ナンバーが交付開始します。

寄附金ありの場合は、カラー、寄附金なしの場合は、モノトーンとなります。

【図柄入り富士山ナンバーの図柄デザイン】

作者 大庭寛明様
裾野市在住 職業 デザイナー

○カラー（寄附金あり）



○モノトーン（寄附金なし）

